

# 総 会 次 第

平成28年7月23日(土)

9時40分～12時00分

長岡駅前バンビオ1号館

1. 開会の言葉(司会) 小林氏
2. 挨拶 (理事長) 稲岡理事長
3. 議長選出 (司会) 小林氏
4. 議事録署名人選出(ここから議長)
5. 開会宣言・総会成立報告
6. 審議事項 (議案の決議)
  - 第一号議案 平成27年度事業報告および決算報告について  
活動報告(野本理事)  
事業報告(稲岡理事長)  
決算報告(小椋理事)  
監査報告(荒木監事)
  - 第二号議案 平成28年度事業計画並びに収支予算について  
事業計画(稲岡理事長)  
収支予算(小椋理事)

7. 役員(理事・監事)の選出、新役員の就任承諾

— 10分間の休憩 —

8. 閉会宣言
9. 連絡報告事項
10. 閉会の言葉(司会)

— 総会終了後、新理事会終了まで待機 —

◎新理事会の結果報告

新理事長(代表理事)・副理事長就任報告会

# NPO法人 竹の学校 平成27年度 活動報告

平成28年7月9日

年月	作業 日数	参加人数		活動内容
		会員	ゲスト	
H27.6	7	66		金ヶ原竹林を整備し、竹の廃材を長法稲荷の竹林(竹の学校A竹林)へ運搬し焼却。 A竹林施肥・こらさ竹林間伐・会計監査。
H27.7	8	70	15	第8回総会(7/11)を実施した。物置小屋の整理・サバエ刈り。 京都市七夕祭り用の竹を出荷。 放置竹林整備の体験として長岡中の学生(6名)が間伐作業を実施。
H27.8	5	33	25	B竹林の間伐作業・間伐竹を竹炭業者へ引き渡す。 長岡中の学生(25名)が放置竹林整備の体験と運動会用竹準備に間伐作業実施。
H27.9	8	82	14	立命館高校生(14名)が文化祭の「竹あそび」に使用する竹を搬出。 「長岡京竹あそび」に使用する竹灯籠(650ヶ)を用意した。
H27.10	10	96	34	「竹あそび」「環境フェア」で竹行燈・竹細工品を出展。 グリーンカーテンコンテストで優秀賞を受賞。 放置竹林整備の体験として長岡中の学生(33名)が間伐作業実施。 城陽市・法隆寺方面から稲ワラを集め運搬。
H27.11	8	70	3	間伐竹焼却作業。古い物置小屋解体・新物置小屋作り準備。 施肥・藁敷き・土入れ作業実施。
H27.12	7	79	3	藁敷き・土入れ作業実施。新物置小屋作り作業。間伐竹焼却。 12/26 懇親会(21名)実施
H28.1	5	44	1	新物置小屋作り作業。用具・資材の整理。 こらさ竹林間伐作業実施。間伐材焼却作業。
H28.2	8	63	24	市役所主催の「森林ボランティア講座」を支援し、受講者(20名)に竹林の整備・ 間伐作業を指導した。
H28.3	9	108		新物置小屋完成。ホダ木を西山から搬出した。 コラサ裏山の竹林から枯竹を亀岡方面へ運搬した。タケノコ掘りを開始。
H28.4	13	160	94	タケノコ掘りが本格的となり、作業を一時2日/週から3日/週に変更した。 エコツアー94名参加。 椎茸菌をホダ木に打ち込み作業実施。
H28.5	9	87	10	タケノコ掘り・新竹の先止め作業実施。 竹林整備(サバエ刈り・新竹間伐)。コラサ裏山の放置竹林間伐実施。
[計]	97	958	223	

1 事業の成果

NPO法人として8年が経過して、継続して会員の高齢化・世代交代等の課題はあるが、放置竹林整備作業、伐採竹の有効活用、タケノコの伝統栽培の継承を通じ、長岡京市の竹林美化活動とその啓発活動に寄与することができた。

2 事業の実施に関する事項～特定非営利活動に係る事業

① 事業名 放置竹林整備事業

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 金ヶ原竹林及びこらさ竹林	延べ195名	企業 125名	175千円
事業内容	<p>【目的】 放置竹林を整備し、水資源の涵養、竹林の環境美化活動に貢献する。</p> <p>【内容】 現在、たけのこ畑と放置竹林合わせて 16.6千㎡を管理。 放置竹林の枯れ竹処理と定期的の間伐作業をしている。 竹の利活用として竹炭、竹垣、竹ほうき等の利用拡大を図っている。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>長法寺B竹林～バス通りに面する。面積3千㎡ 長法寺B竹林はほぼ整備が終わり、定期的枯れ竹の間伐と竹の焼却で、維持管理ができています。今年は豊作でたけのこが異常に多く、放置竹林のたけのこはすべて倒した。一部はボランティア応援をいただき、たけのこを持ち帰ってもらいました。現状で美観維持ができています。</li><li>長法寺C竹林～面積1千㎡ 長法寺C竹林は作業を開始してから8年を経過し、現在は定期的の間伐とタケノコの処理を実施している。今年はたけのこを処理して美観維持と竹材利用を実施。</li><li>こらさ竹林～面積7千㎡ 景観を良くするため、枯れ竹の搬出と、一部の伐採竹の焼却作業を実施。景観に影響がある枯れ竹処理も半分終わった。枯れ竹処理は来期も必要。</li><li>金ヶ原竹林～面積1.6千㎡ 金ヶ原竹林は青竹200本使用の話が今年中止となり、枯れ竹の搬出作業を実施した。来期の青竹200本の話も中止になる。来期は枯れ竹処理と間伐をしてゆく。間伐が終わるので地主様に返却する予定。。</li></ol> <p>【活動の成果と課題】 管理竹林整備面積16.6千㎡になり、水資源の涵養にも寄与し、周辺環境美化に貢献。 現在、作業者の高齢化と、会員数が減少している。活動を継続するため、会員を増やし若返りを図っていくことが急務である。 長岡京市と協賛でボランティア養成講座などのイベント等を行い、会員をさらに増やしていきたい。さらに中学校、高校、大学に声をかけて環境と水資源の涵養の必要性を訴えてゆき、ボランティア参加を期待したい。</p>			

② 事業名 伐採竹の有効活用

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 野山竹林及び金ヶ原竹林	延べ175名	企業 45名	5千円
事業 内 容	<p>【目的】 放置竹林の整備に伴う、大量の伐採竹の処理を焼却以外の有効利用の模索。</p> <p>【内容】 エコ活動支援団体の協力を得て、大量の伐採竹を供給できた。 竹の利用用途拡大検討として、竹炭を有機農法に試行。</p> <p>① 立命館中高校殿に青竹を提供(9/20) 文化祭用に青竹筒200本を提供。 こらさ竹林から竹材を伐採・提供した。 共同で、間伐・伐採竹の搬送を実施、学生と交流した。</p> <p>② 長岡中学殿に青竹を提供(8/26) 体育祭用に青竹4mを約20本提供。 こらさ竹林で伐採、枝払いを指導、作業を通じ中学生と交流した。</p> <p>③ 三菱電機労組と共同でこらさ竹林整備(4/30) 大手の環境活動としてこらさ竹林西域を管理しているが、年一度の伐採作業に合わせて共同作業した。</p> <p>④ タイ民族竹楽器を和竹で試作支援と指導(～5/24) タイ音楽家の要請により、アンガルの発生音の理論式を導き出すと共に、タイで購入してきた劣化したアンガルに代わり、孟宗竹で試作の支援を行ってきた。来期は、長岡京の竹で作ったアンガルで演奏会ができるよう、1オクターブ分(8音)を揃える予定。</p> <p>⑤ 竹の利用用途拡大の検討継続 竹炭を土の改良に利用するため、竹炭を粉砕することを試行。粉砕は竹チップパー、家庭の園芸用粉砕機で5mm程度に粉砕できるテストも継続。</p> <p>【活動の成果と課題】 今期はツバキエマソン殿のような大口消費企業が無かったので、伐採竹の消化は半減した。来期からは茨木高校殿、ツバキエマソン殿に、継続して各々200本レベルの供給を予定しており、成果もさることながら、スタッフ確保が課題。ありがたいですが…。</p> <p>竹をチップ化してプラスチック材料として活用することを、協業で検討して行くとともに、竹チップパーの導入も検討継続する。</p>			

③ 事業名 たけのこ伝統栽培の保存継承

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市 長法稲荷神社隣接竹林	約500人	96名 (エコグループ)	440千円
事業 内 容	<p><b>【目的】</b> 京都式軟化栽培法の継承により、美しい竹林を維持。 エコツアー受け入れによって、竹林を開放し、美化活動への啓発に寄与する。</p> <p><b>【内容】</b> 対象はタケノコ畑となった管理竹林の長法寺 A 竹林～面積4千㎡ 一連の作業(新竹の先止め・下草刈・施肥・ワラ敷き・土入れ)を実施。 今年度は豊作年ということで、例年の4割増の作柄となった。 収穫したタケノコ(約2000kg)は会員・エコツアー体験者等に頒布した。 タケノコ栽培が環境保全・水資源涵養につながることをエコツアー体験者に「竹林講座」の講義で説明。</p> <p><b>【活動の成果と課題】</b> 会員・エコツアー体験者に安価でタケノコを頒布することで活動を維持。 会員には昨年同様に安価でタケノコを頒布出来た。 年々高齢化していく中での作業(土入れの運搬作業)の負担の対策として、今年は土入れ作業にバックホウを2日間投入して、1日作業を2日作業にすることで作業密度を下げ、無事年内に終了することが出来た。</p> <p>NHKプレミアムの「美の壺・竹林」の再放送や地域情報誌「京都」リビングの特集記事への掲載など、マスコミの期待に応えられる景観と、素晴らしい京タケノコが収穫できる竹林(タケノコ畑)となっている。 長岡京市の観光と放置竹林問題の提起など、貢献が出来ている。</p>			

④ 事業名 地域活動／竹工芸・竹林のオープン

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
農閑期の毎土曜日 (6～9、1～3月) 9時～12時	長岡京市 長法寺竹林の作業場	約200人	展示会に来場の 一般の市民 約1000人	16千円
事業 内 容	<p><b>【目的】</b> 竹林の伐採竹の孟宗竹を使った竹行灯等の製作、および作品を市内イベントで展示、また、各種団体、個人の見学の受け入れ、竹林作業の体験を受け入れ等で地域活動に貢献して、啓発活動に寄与するとともに、会員勧誘活動につなげていく。</p> <p><b>【内容】</b> 主に竹林の農閑期を利用して、定期活動日に会員有志で活動。 本年度の各種地域活動への参加、イベントへの製作品展示と、見学受け入れ等は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 06/27 (土) 長岡京市上下水道部の伐採受入れ～こらさ竹林</li> <li>・ 07/22 (水) 京都リビングの放置竹林整備取材対応～A 竹林</li> <li>・ 07/23 (木) 京都造形大に竹枝支給～A 竹林</li> <li>・ 07/24 (金) 京都市七夕用竹枝準備と出荷～A 竹林・堀川商店街</li> <li>・ 07/29 (水) 長岡中学生徒会 8名の伐採体験受入～A 竹林</li> <li>・ 07/29 (水) 御簾(みす) 製作者の竹林管理見学受入～A 竹林</li> <li>・ 08/08 (土) 竹炭用伐採竹出荷～こらさ竹林</li> <li>・ 08/21 (金) 竹チップ稼働見学会に参加～JA ライスセンター</li> <li>・ 08/26 (水) 長岡中学生 20名の体育祭用竹伐採受入～A 竹林</li> <li>・ 09/05 (土) 立命館中高校生の竹林整備ボランティア受け入れと 文化祭用竹筒 200本製作と提供～こらさ竹林</li> <li>・ 09/10 (木) 長岡中学体育祭見学(竹棒引き)～長中グラウンド</li> <li>・ 09/30 (水) 立命館高校の体育祭用の竹ポックリ製作と提供～立命館中高</li> <li>・ 10/03 (土) 長岡京市環境フェア出展～中央公民館</li> <li>・ 10/10 (土) 竹あそびに参画・出展～長岡公園</li> <li>・ 10/24 (土) 長岡中学生の竹林整備ボランティア受入～B 竹林</li> <li>・ 11/06 (金) 長岡中学 1 学年の総合学習講師～長岡K中学</li> <li>・ 11/24 (火) ・12/22 (火) ・05/24 (火) アンガルン制作指導～船場アートカフェ</li> <li>・ 02/11 (木) 乙訓地区竹林整備団体交流会～こらさ</li> <li>・ 02/20 (土) 長岡京市森林ボランティア養成講座受入～こらさ&amp;こらさ竹林</li> <li>・ 02/27 (土) 山科区住民と鹿防御用竹枝活用相談～A 竹林</li> <li>・ 03/09 (水) モデルフォレスト事務局&amp;留学生との懇談～こらさ</li> <li>・ 04/03 (日) 長岡京市森林ボランティア養成講座参加者の作業体験会～B 竹林</li> <li>・ 04/27 (水) 市内保育園のタケノコ掘り受入れ～A 竹林</li> <li>・ 04/30 (土) 三菱労組環境活動協業～こらさ竹林</li> </ul> <p><b>【活動の成果と課題】</b> 竹行燈作品はレベル・芸術性の評価も高く、展示会への期待度も高いが、会員増加の効果が無いイベント(竹あそび・環境フェア)を縮小したいが、できない状態である。 今年はインターネットを通じて、見学・調査訪問等が増加し、広報活動が実ってきたことと、市役所の森林ボランティア講習とその後のボランティア団体の作業体験会の連携イベントにより、合せて6名も会員を増員することが出来た。 これからも、広報の重点を会員募集に置くようにしていく。</p>			

# 平成27年度 活動計算書

平成27年6月1日から平成28年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校  
(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 会費		
正会員受取会費	30,000	
入会金	2,000	32,000
2. 寄付金		
受取寄付金	30,000	30,000
3. 受取助成金		
長岡京水資源対策基金	192,830	192,830
4. 事業収益		
(1) 筍栽培事業		
会員筍頒布料	314,300	
発送料、箱代	104,100	
工口頒布料	81,800	
入山協力金	72,500	572,700
(2) 放置竹林整備事業	0	0
(3) 竹材有効利用事業	10,000	10,000
(4) 地域活動		
竹材提供協力金	12,400	
協賛協力金	13,000	
謝礼	5,000	30,400
5. その他収益		
雑収入	2,124	2,124
経常収益計		870,054
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	0
(2) その他経費		
賃貸料	128,696	
委託料	120,444	
材料費	125,672	
消耗備品	117,894	
補修費	57,111	
交通費	15,835	
労務費	12,113	
車両費	20,527	
消耗品費	18,541	
雑費	20,847	
その他経費計	637,680	637,680
事業費計		
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
地代家賃	111,300	
宣伝広告費	12,960	
水道光熱費	2,000	
通信費	3,432	
福利厚生	17,500	
租税公課	1,000	
交通費	83,094	
印刷費	5,414	
交際費	7,594	
事務費	4,046	
補修費	1,080	
雑費	4,321	
その他経費計	253,741	253,741
管理費計		
経常費用計		891,421
当期正味財産増減額		-21,367
前期繰越正味財産額		706,694
次期繰越正味財産額		685,327

# 平成27年度 財産目録

平成28年5月31日 現在

特定非営利活動法人 竹の学校  
(単位:円)

科目・適用	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	51,271	
普通預金		
京都銀行	202,170	
ゆうちょ銀行	431,886	
流動資産合計		685,327
2. 固定資産		
固定資産合計	0	0
資産合計(A)		685,327
II 負債の部		
1. 流動負債		
前受金	0	
流動負債合計		0
2. 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		
正味財産合計		685,327

特定非営利活動促進法 第18条の規定に基づき、平成27年6月1日から平成28年5月31日までの事業年度に関わる財産の状況を監査いたしました。

監査の方法は、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、該当事業年度に関わる財産目録、貸借対照表及び収支計算書について検討いたしました。

監査の結果、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、当法人の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

監事

荒木信輔 

監事

高橋治女 



# 平成27年度 貸借対照表

平成28年5月31日 現在

特定非営利活動法人 竹の学校

(単位:円)

科 目 ・ 適 用	金 額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	51,271		
流動資産合計		685,327	
2.固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計			0
II 負債の部			
1.流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2.固定負債			
借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		706,694	
当期正味財産増加額(減少額)		-21,367	
正味財産合計			685,327
負債及び正味財産合計			685,327

## 平成28年度（平成28年6月～平成29年5月）事業計画案

事業を継続し、放置竹林の整備と竹材有効活用と地域活動に取り組む。

	実施時期・目標
1) 放置竹林整備作業	
① 長法寺A竹林      タケノコ栽培・・・3) 項参照	通年作業による
② 長法寺B/C竹林    間伐作業	奇数月 第4 (土)
③ 金ヶ原竹林        伐採作業・伐採竹搬出	偶数月 第4 (土)
④ こらさ竹林        伐採作業・伐採竹搬出	毎月 第2 (土)
2) 竹材の有効利用      (4. 5. 11. 12月以外)	
① 伐採竹の竹炭焼き作業、竹粉炭、竹チップの検討	8月・2月
② 伐採竹で竹工芸・竹細工	毎月第1・3 (土)
④ 伐採竹の新たな活用先の開拓検討	
3) 京たけのこの生産と技術継承（長法寺A竹林）	
① 京都式軟化栽培法の継承	新竹心止め5月 下草刈り 7月 施肥 8・11月 間伐 9～10月 藁敷き 11月 土入れ 12月
② 土入れに新運搬車とバックホウ投入 （高齢化対策のための機械化の推進）	同上
③ 改良施肥方法の継続（効果改良・作業軽減） 施肥 従来3回→2回	8・11月
4) 地域活動・支援活動	
① エコツアーの受入れ たけのこ掘り体験 間伐作業の体験	4・5月 9～10月
② 放置竹林の周辺の美化活動と長法稲荷の美化	2回（春・秋）
③ 竹工芸品（主に竹行灯）の展示による広報活動 竹あそびと環境フェア	前年並み（2回）
④ 竹あそび準備 竹材確保と竹灯籠づくり	9月
⑤ 他グループとの協業・見学受け入れ	3団体程度
⑥ 京の七夕に協賛	7月

以 上

# 平成28年度 活動予算書

平成28年6月1日から平成29年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校  
(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 会費		
正会員受取会費	32,000	
入会金	5,000	37,000
2. 寄付金		
受取寄付金	30,000	30,000
3. 受取助成金		
長岡京水資源対策基金	136,587	136,587
4. 事業収益		
(1) 筍栽培事業		
会員筍頒布料	300,000	
発送料、箱代	100,000	
工口頒布料	80,000	
入山協力金	80,000	560,000
(2) 放置竹林整備事業	20,000	20,000
(3) 竹材有効活用事業	20,000	20,000
(4) 地域活動		
竹材提供協力金	20,000	
協賛協力金	15,000	
謝礼	10,000	45,000
5. その他収益		
雑収入	2,000	2,000
経常収益計		850,587
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
賃貸料	130,000	
委託料	120,000	
材料費	120,000	
消耗備品	100,000	
補修費	50,000	
交通費	15,000	
労務費	12,000	
車両費	20,000	
消耗品費	18,000	
雑費	15,000	
その他経費計	600,000	
事業費計		600,000
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
地代家賃	110,000	
宣伝広告費	12,960	
水道光熱費	2,000	
通信費	3,000	
福利厚生	15,000	
租税公課	1,000	
交通費	85,000	
印刷費	5,000	
交際費	7,000	
事務費	4,000	
補修費	1,000	
雑費	4,627	
その他経費計	250,587	
管理費計		250,587
経常費用計		850,587
当期正味財産増減額		0
前期繰越正味財産額		685,327
次期繰越正味財産額		685,327

平成28年7月9日  
NPO法人 竹の学校

## 平成28年度作業責任者（案）

1. 京たけのこ生産 担当 野本  
頒布 担当 川路
2. 経理 担当 高橋（も）
3. 竹林伐採整備 担当 世良田
4. 竹工芸 担当 澤
5. 花壇の維持管理 担当 稲岡（喜）、高橋（も）
6. 備品管理（物置管理）担当 野本
7. 広報 竹林日記 担当 稲岡、世良田  
ホームページ管理・エコツアー受入れ担当 稲岡
8. 竹炭作り（3回） 担当 高橋
9. 竹・木工細工（間伐材活用）担当 野本、荒木
10. 竹あそび 担当 梶原、竹内
11. 外渉窓口 担当 世良田（竹カフェ）、稲岡（WEB）

担当者は業務の実行と管理をお願いします。担当以外の人にも積極的な協力をお願いします。